

山間地域が、経済成長を実現し得るという指標が示されたことは、本市を含め地方創生の取組を進める自治体にとって意義を有するものです。

本市では、本年度、国営ほ場整備事業の推進体制を強化するため、農地整備課を新設するとともに、これに先がけ、3月22日には各地区ほ場整備委員会、高知県農業協同組合土長地区、農業委員会及び本市で構成される高知南国地区国営緊急農地再編整備事業促進協議会を設立し、令和2年度の着工要求決議を行いました。

令和の時代の幕開けとともに、本市は、市制施行60周年という節目の年を迎えます。これまで諸先輩方が守り、育んで来られた多くの事柄を次の世代へと引き継いで行くとともに、『若者が希望を持ち、誰もが安心してくらすことができるまち』の実現と、更なる市勢発展に向けて、各種施策に全力で取り組みます。」と述べた後、主要な課題について報告しました。(内容はあらまします)

平山耕三市長は、6月14日開会の第407回市議会定例会で各議案の提案説明に先立ち、「5月1日に天皇陛下が即位され、新しい元号『令和』の時代が幕を開けました。

日本経済では、5月13日発表の景気動向指数速報値や同月24日発表の月例経済報告など政府が発表する各種経済指数が下方修正されるなど、景気回復が実感として国民全体に浸透していない状況です。こうした情勢下、経済活動に大きな影響を及ぼす少子高齢化社会の進行をいかに食い止めるかが重要な課題となっています。

4月15日、高知県から、県産業振興計画に着手した2008年度以降2015年度までの間における県内経済成長率が示されました。県全体でプラス5.9パーセント、中山間地域で6.7パーセントと、生産年齢人口の減少幅が大きい中山間地域が、成長率では県全体を上回るというものでした。背景には多くの取組や要因があるかと思いますが、人口が減少するなか、地方が、また、地方における中

南海トラフ地震対策

臨時情報への防災対応

昨年度末、「南海トラフ沿いの異常な現象への防災対応検討ガイドライン」が国により策定されました。本市では、臨時情報が発表された場合には、小中学校を臨時休校とすることをすでに決定しており、保育所等も、休園の方向で検討を進めています。臨時情報を最大限に活用し、被害の軽減につながるよう、本年度中の計画策定に努めます。

津波避難施設「命山」の整備
市立スポーツセンター周辺津波避難施設「命山」の整備については、基本計画の策定が完了しましたが、概算工事費が高額であるため、最小限の避難面積のみを確保するなどの規模を縮小した盛り土構造物、津波避難タワーの建設も含めた再検討を行っています。

住宅耐震化促進事業

事業を開始しました平成15年度からの累計件数は、耐震診断が1千587棟、耐震工事に至った住宅が654棟となっています。引き続き、啓発活動を行うなど、南海トラフ地震対策として、住宅の耐震化に取り組みます。

財政状況

収納率や加入率の向上など適切な運営

一般会計の形式収支は、8億9千4万4千円の黒字となります。形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を控除すると、実質収支は、7億2千105万3千円の黒字となり、このうち財政調整基金に3億7千万円の決算積立を行い、翌年度繰越金は3億5千105万3千円となります。

特別会計への繰出金の増大は、ひいては一般会計を圧迫することとなりますので、特別会計においても収納率や加入率の向上、また受益者負担の適正化を図ることにより、適切な運営に努めます。

国民年金

産前産後期間の保険料免除制度が開始

4月から産前産後期間の保険料免除制度が開始され、本市窓口でも申請を受け付けています。制度については、保健福祉センターでの母子手帳の交付手続の際に、案内文書をお渡しするなど、周知を図っています。

コミュニティバス

4路線の運行事業者が決定

市内バス路線を運行するとさでん交通株式会社の路線退出を本年9月末に控え、コミュニティバスの運行に向けて手続を進めています。運行を予定する4路線の運行事業者もそれぞれ決定し、6月7日に開催した南国市地域公共交通会議で、その他運行方法等の承認をいただきました。運行方式は、本市が運行車両を購入し、これを運行事業者に貸与することとしています。

介護保険

地域ケア推進会議の開催

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活していくうえでの課題について、介護、医療、福祉等の関係者により検討を行う「地域ケア推進会議」を3月に開催しました。今後とも、地域課題の解決に向けて定期的に協議を行い、高齢者の生活を支援していく体制整備を進めます。

森林環境譲与税

森林所有者への意向調査を実施

3月29日に、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律が公布され、本年度から市町村が行う森林の整備及びその促進に関する施策の財源として森林環境譲与税が譲与されます。本年度は、森林所有者への意向調査を中心に実施し、森林環境の保全に有効な施策につなげていきます。

生活困窮者自立支援事業

子どもの学習・生活支援

生活困窮者自立支援法の一部改正により、本年4月から「子どもの学習・生活支援事業」として法に定義され、学習の支援に加えて、生活習慣・生活環境の向上等への取組に関する事業強化が図られています。本市では、これまでも中高生の進学や就労等の相談に応じるなど、必要な情報の提供や助言を行うてきましたが、引き続き、生活困窮世帯の子どもを取り巻く学習・生活・養育の課題に対し、関係機関と連携して支援していきます。

子育て支援

ゴールデンウィーク期間中の保育施設の受け入れ

10連休となったゴールデンウィーク期間中、ご家庭での保育が困難なお子さんへの対応として、長岡西部保育所を4月30日、5月1日、2日の3日間開所し、延べ24人のお子さんをお預かりしました。

有害鳥獣対策

新たに鳥獣被害対策実施隊を設置

有害鳥獣対策は、これまで北郡中山間地域に集中していたイノシシによる農林産物への被害が、稲生地区や十市地区など南部地域でも報告されるなど、被害発生地域の拡大がみられ、市内全域の鳥獣被害に対応できる体制を整えました。本年度、新たに鳥獣被害対策実施隊を設置し、今後は農家等に被害の聞き取りを行うことと、被害予察に基づいた予察計画を作成し、鳥獣被害対策実施隊や鳥獣被害対策協議会を中心として、効果ある有害鳥獣駆除に努めます。

春のイベント

土佐の食1グランプリ

4月6日、7日の両日、満開の桜のもとで「岡豊山さくらまつり」「土佐の食1グランプリ」が開催されました。食1グランプリでは、本市の斉藤牧場の牛乳を素材とした「南国斉藤牧場のノンホモ山地酪農牛乳ジェラート」が優勝し、南国市産の食材の強みが評価されるといいうれしい結果となりました。

長宗我部フェス

今回10回を迎えました長宗我部フェスでは、土佐長宗我部鉄砲隊や豊後大友宗麟鉄砲隊の鉄砲演舞など、歴史イベントとして趣向を凝らした出し物で、多数の来場者が楽しまれました。また、市制施行60周年記念の冠イベントとして、記念出陣式、殺陣と音楽と踊りによるパフォーマンス「破天航路ステージ」なども実施し、同日夜に開催された「長宗我部の宴」には、全国から長宗我部ファン、歴史ファンが参加し、交流を深めました。

あったかふれあいセンター

拠点機能の見直し

南国市社会福祉協議会に委託して実施しています「あったかふれあいセンター事業」は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域づくりを進めるため、昨年度、拠点機能を見直し、地域の生活課題に対応した、制度の狭間を埋める新たな支えあいの仕組みづくりと活動の推進を目指しています。本年度は、ニーズの高い独居高齢者の集いと小学生の学習支援の実施日を増やすとともに、他機関との連携強化を図ります。

NHK「巡回ラジオ体操・みんなの体操会」

8月25日開催が決定

NHK「巡回ラジオ体操みんなの体操会」の本市での開催が決定し、8月25日の日曜日に大篠小学校グラウンドにて実施されます。市制施行60周年記念事業として多くの市民の皆様にご参加いただきたいと思います。

中央地域交流センター

ワークショップを開催

(仮称)中央地域交流センターについては、4月から5月にかけて計3回の市民ワークショップを開催しました。今後実施する中高生のヒアリング等の内容も含めて基本設計に反映していきます。

教育環境の整備

普通教室への空調設備の整備が完了

大篠小学校の校舎増築が本年3月に完成し、また、市内全小中学校の普通教室への空調設備の整備が完了しました。本年度は9月をめどに特別教室への整備を行うこととしています。

また、本年度新たに、スクールロイヤーを導入し法的側面から助言等を行うことで、学校の諸課題の効率的な対応・解決のための学校サポート体制の充実を図り、学校トラブルへの市全体の相談体制の構築を図ります。